

藤沢市教育委員会定例会（11月）会議録

日 時 2009年11月20日（金）午前10時

場 所 東館2階教育委員会会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 教育長報告
 - (1) 平成21年9月藤沢市議会定例会の開催結果について
- 5 閉 会

出席委員

1 番 佐々木 柿 己
2 番 鈴 木 紳一郎
3 番 澁 谷 晴 子
4 番 小 澤 一 成
5 番 藤 崎 育 子

出席事務局職員

教育総務部長	田 中 一 次	生涯学習部長	青 柳 茂
教育総務部担当部長	村 岡 泰 孝	生涯学習部担当部長	須 藤 公 夫
教育総務部参事	茂 木 利 夫	生涯学習部参事	熊 谷 正 明
教育総務部参事	吉 田 早 苗	総合市民図書館長	古 谷 一 幸
教育総務部参事	佐 川 悟	生涯学習部参事	宮 澤 光 明
教育総務部参事	酒 井 一 二	学務保健課長	吉 田 正 彦
教育指導課主幹	上 條 茂		
書 記	秋 山 曜	書 記	中 山 裕 子

午前 10 時 00 分 開会

澁谷委員長

ただいまから藤沢市教育委員会 1 1 月定例会を開催いたします。

今回の定例会における議題は、教育長報告のみとなりますが、ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

それでは、会議録署名委員を決定いたします。本日の会議録に署名する委員は、4 番・小澤委員、5 番・藤崎委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

澁谷委員長

それでは、本日の会議録に署名する委員は、4 番・小澤委員、5 番・藤崎委員にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

次に、前回会議録の確認をいたします。

何かありますか。

特にないようですので、このとおり了承することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

澁谷委員長

それでは、このとおり了承することに決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長

それでは、教育長報告をお願いいたします。

(1) 平成 2 1 年 9 月藤沢市議会定例会の開催結果について、報告をお願いいたします。

佐々木委員

それでは、平成 2 1 年 9 月藤沢市議会定例会の開催結果について、ご報告申し上げます。9 月定例会の会期は、9 月 1 日から 1 0 月 5 日までの 3 5 日間で開催されました。

まず、教育委員会に関連する議案でございますが、6 月補正予算に計上した、学校施設環境対策推進事業費等に経済危機対策臨時交付金を充当するための、「財源更正」、特別支援学級を新たに小学校 2 校に開設するため、施設の改修や備品購入等のための「特別支援教育運営費」、小・中学校及び白浜養護学校における教員の円滑な校務環境を整えるため、校務用パソコンを追加配置するための「校務支援システム整備事業費」、小・中学校及び白浜養護学校の全校において、5 0 インチ電子黒板機能付きテレビを配置するとともに、現在教室にあるテレビを地上デジタル放送対応型テレビに更新するための「地上デジタル放送対応整備費」、小・中学校及び白浜養護学校の全校において、新教育課程の実施に向けて必要となる理科教育備品等整備のための「理科教育設備整備費」、に係る補正予算に

つきましては、総務常任委員会に付託され、審議の後、本会議において可決されました。

また、報告案件といたしまして、「財団法人藤沢市芸術文化振興財団」及び「財団法人藤沢市スポーツ振興財団」の経営状況につきまして、それぞれ報告をさせていただきました。

次に、9月8日に開催されました、文教常任委員会についてご報告いたします。

報告案件でございますが、教育委員会に係る案件といたしまして、3件ございました。

報告案件の1、「平成22年度使用藤沢市教科用図書の採択結果について」では、7月24日の教育委員会定例会において、資料及び藤沢市教科用図書採択審議委員会からの答申を参考に、5人の教育委員が公開の場で協議し、来年度使用する教科用図書が採択されたことについて、報告いたしました。

次に、報告案件の2、「藤沢市学校教育相談センターの運営状況について」では、開設後の1年間の運営状況について、平成20年度の相談対応・活動の実績、相談対応の成果及び課題について、報告いたしました。

次に、報告案件の3、「本町小学校の改築について」では、改築設計委託契約の内容、基本設計の概要、「環境への配慮」と「開かれた学校」の2つの視点から捉えた設計の特徴、そして工事スケジュールについて、報告いたしました。

以上で、文教常任委員会のご報告を終わらせていただきます。

また、9月7日に開催されました、民生常任委員会において、報告案件の1、「藤沢市新型インフルエンザ対策における今後の対応方針について」では、夏季休業明けの新型インフルエンザ感染拡大の防止のために実施した、学校長への通知、内科校医への依頼、保護者への協力依頼について、ご報告いたしました。

続きまして、一般質問についてでございますが、全体で18名の議員から質問がございました。教育委員会に対しましては、5名の議員から8件、13の要旨にわたり、50項目のご質問をいただきましたので、主な内容をご報告させていただきます。

はじめに、藤沢市公明党の増井秀夫議員から「学校施設の整備について」の件名で、「耐震化の進捗状況と、耐震化後の問題と対策について」の要旨の中で、「耐震化工事を優先して児童生徒の安全性を確保されたことは評価するが、このことで他の整備が遅れたり課題となっていることはないか。また、その対策について」とのご質問には、外壁補修塗装工事、屋上

防水工事、特別教室等空調設備整備及び改修、トイレ改修工事などについて今後計画的に行う必要が生じていること、校舎の老朽化も課題で、今後、大規模改修や建て替え等が必要になること、教育環境整備についても、特別支援学級の新設や少人数学級の実施などへの対応が課題となっていること、対策としては、校舎棟の改築、又は大規模改修計画を策定し、その計画と合わせながら設備等について整備するにあたり、現在策定中の新総合計画に合わせ、学校施設整備計画の策定を始めているところであることなどを答弁いたしました。

続きまして、「学校施設における、環境負荷の軽減策と環境教育について」の要旨の中で、「学校施設の整備にあたり、環境負荷を軽減し、環境に配慮した計画づくりも必要であるが、今後、計画的に整備していくにあたり、どのような方針か」とのご質問には、平成20年度、21年度の文部科学省の「既存学校施設における環境対策推進支援事業」に参加し、既存学校施設における環境対策を一層推進していくため、地域や学校の特性を考慮した具体的な環境対策の検討を行い、その結果を踏まえ、教育環境の向上及び地域活動拠点としての学校施設のあり方を考慮するとともに、環境負荷を抑制し、環境を考慮した今後の新たな藤沢市学校施設整備方針を策定するものであることなどを答弁いたしました。

続きまして、かわせみ会の竹村雅夫議員から「教育にかかわる諸課題について」の件名で、「学校に対する「理不尽」な要求への対応について」の要旨の中で、「「保護者の思いを十分受け止め、問題の本質や背景を把握し、双方の関係修復を行う」ことを目的とした機関を設置すべきではないかと思うが、教育委員会の考えをききたい。」のご質問には、学校がよりよい対応を行うことも必要と考えているが、学校が努力を重ねても、解決に向かわず、長期化する事例も増えてきていること、学校が日々直面している事例への対応について、かねてから課題として考えており、どのような方法の支援が望ましいか、他市の取組等も参考にして、現在、検討していることなどを答弁いたしました。

続きまして、藤沢市公明党の大塚洋子議員から、「子どもの心の育みについて」の件名で、「子ども読書活動推進について」の要旨の中で、「藤沢市子ども読書活動推進計画改定について」とのご質問には、国・県の計画との整合を図りながら、子ども読書活動推進計画策定委員会の中で本市の独自策を含め、計画の検討を進めてまいりたいこと、今後のスケジュールとしては、10月に子どもや保護者の読書環境や意識に関するアンケート調査を行い、その結果をもとに子ども読書活動の現状と課題を整理・検討し、来年8月頃に素案をまとめた後、議会に報告を予定しており、その

後、パブリックコメントを実施し、平成22年度中に成案としてまとめてまいりたいこと、前回の策定作業と異なる点としては、広く市民のみなさんの声を計画に反映させるため、市民公募の策定委員を新たに2名加えたことなどを答弁いたしました。

続きまして、「障がいがあっても安心して暮らせるまちについて」の件名で、「特別支援教育について」の要旨の中で、「他市の特別支援学級の設置率や特別支援教育協議会の提言を受けて、本市としては、特別支援学級設置について、今後どう進めていくのか」とのご質問には、小学校・中学校の特別支援学級の設置について、8ブロックを軸とする拠点校としての特別支援学級設置を計画的に行った結果、平成22年度には、1ブロックに小学校2校、中学校1校の設置が、概ね完了すること、本市の特別支援学級は、他市に比べ、一人ひとりのニーズに合うように、プレールームを設置したり、トイレやシャワールームを設置したりと、他市に比べ教育環境整備がなされていること、近年、入級対象者の増加、保護者の考え方の変化等により、特別支援学級への入級希望者が増えており、特別支援教育協議会の提言を受け、今後、学区の児童生徒が、学区の学校へ通うという考え方のもと、新総合計画に位置付け、計画的に設置を進めてまいりたいことなどを答弁いたしました。

続きまして、日本共産党藤沢市議会議員団の高松みどり議員から「こどもの貧困解消について」の件名で、「こどもの権利条約を市政に生かすことについて」の要旨の中で、「こどもの権利条約について、現在、藤沢市のこどもと親にどのように周知徹底されているのか。」とのご質問には、毎年12月上旬の人権週間に合わせ、「児童の権利に関する条約」の存在を広く児童生徒に知らせ、権利条約の精神を日常生活の中で生かすようにすることを目的として、「子どもの権利条約」の意図をふまえたリーフレットを、市内全小学校の1年生、4年生、中学校1年生の児童生徒に配布していること、また、教職員に対しては授業で指導するための活用の手引きをあわせて配布していることなどを答弁いたしました。

続きまして、藤沢市公明党の松下賢一郎議員から、「いじめ・不登校等への対策について」の件名で、「平成20年度の調査結果について」の要旨の中で、「平成20年度においては、学校においてアンケートや面談を実施し、児童生徒からいじめや個人的な悩みについての情報が寄せられたと答弁があったが、全校、全児童生徒にアンケートもしくは面談を実施しないのか。」とのご質問には、中学校においては、いじめや個人的な悩みを中心とした面談やアンケートを実施したり、学期ごとに個人面談や保護者を含めた三者面談を実施するなど、幅広く生徒の悩みを受け止める機会

を設けていること、小学校においては、発達段階や理解度等における学年間の個人差が大きく、全児童を対象のアンケートや面談を全校で定期的には行ってはいないが、保護者との面談や家庭訪問を実施し、児童の悩みやトラブルの把握については、日々把握するよう努めており、今後も引き続き同様の対応をしまいたいことなどを答弁いたしました。

続きまして、「児童生徒への支援策について」の要旨の中で、「「スクールソーシャルワーカー」の現在の活用状況と今後の方針について」とのご質問には、今年度から、県において各教育事務所ごとに1名ずつスクールソーシャルワーカーが配置され、現在は、様々なケースを抱えている教職員と他の専門機関との連携を図るコンサルテーションとしての業務を中心に活動していること、今年度、本市においては活用の事例はないこと、今後については、県のスクールソーシャルワーカー配置事業の方向性を鑑みながら、より学校に密着して活動できる形を検討してしまいたいことなどを答弁いたしました。

続きまして、「ネットいじめ対策について」の要旨の中で、「「学校裏サイト」への対応として、プロに依頼する自治体も多く見られ、茅ヶ崎市でもネットパトロール事業の費用を計上するが、本市でもプロに依頼するなどネットいじめ対策の強化を図る考えはないか」とのご質問には、学校裏サイトを監視している民間団体に会員登録しており、定期的に市内小中学校の学校裏サイトの状況を把握するよう努めていることを答弁いたしました。

続きまして、「子どもたちの体力向上について」の件名で、「新体力テストの取り組みについて」の要旨の中で、「今年度から体力テストを全校実施していく中で、その結果をどのように生かしていくかが、今後の課題だと思うが、どのように考えているか」とのご質問には、結果は、個人の意識高揚のために活用し、運動の得意・不得意に限らず、自らの体力をより高め、維持していこうとすることが、日々の生活の中に自然と運動を取り入れることとなり、行動や生活習慣の変容につながっていくと考えていること、全校実施による藤沢市の結果については、教育委員会において、その傾向を分析し、分析結果を各学校に情報提供をし、次年度の体力向上に向けた取組や体育の授業における指導の工夫、児童生徒による学級活動や委員会活動等に生かして参りたいことなどを答弁いたしました。

続きまして、「体育について」の要旨の中で、「本市の小学校体育の授業における実技指導は十分機能しているのか。また、指導力向上には、どのような取り組みがなされているのか。」のご質問には、小学校の体育の実技指導については、さまざまな工夫を凝らし、事前の計画、準備を行

い、授業を行っていることと認識していること、教育研究会の体育部会において、実践的な授業研究や研究協議が行われており、授業の参考となっていること、指導力向上については、各学校で研究授業を実施し、研究会を開いたり、指導主事の学校訪問を通して、授業研究をし、指導法の工夫改善を図るなど、取り組んでいることなどを答弁いたしました。

続きまして、「スポーツ環境の整備について」の件名で、「「ふじさわスポーツ元気プラン」の改定について」の要旨の中で、「実施計画の策定について、今後の具体的なスケジュールについて」とのご質問には、関係団体からのご意見などを踏まえ、スポーツ振興審議会に諮りながら、今年度中に草案を作成したいと考えており、その後、市議会に報告し、基本計画と同様、平成23年度からの施行を目指してまいること、障害者スポーツ団体の組織化に向けては、今後、障害福祉課や藤沢市スポーツ振興財団等関係団体との協議・調整を行ってまいりたいことなどを答弁いたしました。

続きまして、「スポーツ拠点づくりの推進について」の要旨の中で、「「スポーツ拠点づくり推進事業」の活用に向けた今後の取り組み予定について」とのご質問には、中学生のビーチバレー全国大会が、スポーツ拠点づくり推進事業の指定を受けられるよう、「スポーツ大会開催計画承認申請書」並びに「平成22年度スポーツ拠点づくり推進事業助成申請書」を提出し、本年12月上旬に「スポーツ拠点づくり推進委員会」の審査を経て、年内に結果通知が送られる予定となっていること、「スポーツ拠点づくり推進事業」として指定を受けた場合、大会開催とともに「地域の活性化」を図ることも重要な要素となっており、経済部の各課をはじめとして、藤沢商工会議所、藤沢市観光協会等の関係団体とも連携を図ること、また、大会を円滑に進めるため、財団法人藤沢市スポーツ振興財団で行っております「スポーツサポーターバンク」をはじめ、多くの市民ボランティアの協力も必要となり、今後調整を必要とする事項であること、国内初のビーチバレー日本一を目指す中学生の全国大会を藤沢市で開催し、国内ビーチバレー発祥の地を、全国に強くPRするとともに、本市のスポーツ振興を図ってまいりたいことなどを答弁いたしました。

以上で、一般質問の報告を終わります。

最後に、平成20年度、藤沢市一般会計歳入歳出決算の認定について、ご報告させていただきます。

決算特別委員会におきまして、平成20年度における、教育行政の歳入歳出に係る内容を説明した後、質疑、討論を行い、採決の結果認定され、本会議におきましても討論、採決の結果、認定されました。

決算特別委員会では、学校関係では、国際教育、小・中学校施設、就学援助、奨学金等について、生涯学習関係では、学校・家庭・地域連携、公民館、スポーツ施設等について、ご質問をいただき、それぞれの実績等をご報告させていただきました。

なお、「教育委員会の点検・評価」につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正が行われ、平成20年4月から施行され、教育委員会が毎年、その教育行政事務について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出することになっております。

昨年度は、初年度でありましたので、12月の文教常任委員会でご報告させていただきましたが、今年度の点検評価の対象は平成20年度の事業となりますので、決算にあわせてご報告し、特段のご質問はございませんでした。

以上で、平成21年9月藤沢市議会定例会の開催結果についての報告を終わりとさせていただきます。

澁谷委員長 ただいまの教育長報告につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

鈴木委員 インフルエンザについて、学級閉鎖等で授業時間がかなり削られていると思うので、その辺の対策、指示等を伺いたいと思います。

吉田教育総務部参事 インフルエンザに対しての授業時間の確保ということかと思いますが、10月28日付で学校長に通知を出しております。内容は履修漏れがないこと、授業時間の確保に努力をしてほしいというのですが、下回るとしても、それをもって法に反するものではないということが指導要領に書かれておりますので、まず、努力することが大切であるということを通知の中に記載いたしました。学校においては、5校時の後、6校時を確保する工夫をしたり、普段ですと、個人面談等があると、子どもたちはそのまま放課後になってしまうのですが、そのあたりの時間を確保する形で、学校は努力をしているという状況です。

鈴木委員 ネットいじめ対策について、藤沢市でも裏サイトをチェックしているということですが、実際にどのくらいチェックされているのか、実態を教えてくださいいただければと思います。

吉田教育総務部参事 裏サイトについては数え切れないほどありまして、次々と新しいサイトが出てきていて、担当の指導主事が定期的に見つけては各学校に発信したり、情報提供している状況ですけれども、細かい数については残念ながら把握ができていない状況ですが、大変たくさんあるということだけご承知おきいただければと思います。

鈴木委員 茅ヶ崎市ではプロに任せているということですが、藤沢市でも指導主事

が朝から晩までやるのは大変かと思うので、何か対策を練られてはどうか
のでしょうか。

吉田教育総務部参事 この件について、茅ヶ崎市にも問い合わせてみましたが、プロと
はいえ藤沢市でやっている指導主事レベル程度ということですので、大し
て効果は変わらないです。指導主事の仕事にご配慮いただいておりますが、学校の方には情報提供できる範囲内でやっているという形でご
理解いただきたいと思います。

藤崎委員 生徒たちに裏サイトの危険性とか、友達に「死んでしまえ」というよう
なメールを送ってしまうようなことに対して、学校の授業などで実際に指
導は行われていますか。

吉田教育総務部参事 学校の方は裏サイトに限らず、携帯電話とか電子のさまざまな機
器の扱いについて業者の方でもかなり力を入れてくれているところもあ
りまして、そういった業者を入れて各学校で生徒及び児童を指導している
ケースがございます。あわせて保護者と抱き合わせの中でやっていて、子
どもたちだけに周知を図ってもなかなか解決しないものですから、保護者
への依頼も含めてそういった対応をしております。

藤崎委員 他県において、授業で、生徒全員が指導用に作られた携帯を使って、実
際に送信をし、携帯の怖さを体験できる授業を行っているところもあるの
で、藤沢市でも子どもが実践できるような機会をつくっていただきたいと
思います。

小澤委員 民間でネットパトロールをしているという話がありましたけれども、具
体的にどのような活動をしているのか、お聞かせいただきたいです。

吉田教育総務部参事 民間団体の方はさまざま寄せられる情報を整理して、藤沢市に係
るものを配信していただく形になっているようです。

小澤委員 それは毎月報告が上ってくるのですか。

吉田教育総務部参事 ほとんど毎日やっていると思います。それを指導主事がそれに係
りきりで、朝から晩まで見ているわけではありませんので、ある一定の期
間で藤沢市の情報を整理しているという状況です。民間の方からは日々送
られてきております。

澁谷委員長 指導主事はその情報を受けてどのような形で対処されるのですか。

吉田教育総務部参事 指導主事は情報を得まして、学校が特定されるものとそうではな
いもの、それから裏サイトですから、必ず特定されないような工夫がされ
ている部分もあるので、こういった情報を得たときに学校の方に情報提供
しまして、学校はそれを児童生徒あるいは保護者に情報提供して、削除で
きるものは削除依頼をする。そうでないものについては注意喚起をする
という方法を取っています。

澁谷委員長 サイトを運営している人に削除依頼をするところまではやっているということですか。

田中教育総務部長 このネットパトロール事業、それから藤沢市で行っている民間団体の登録等々も行われているのですが、内容等について、例えばその事案が発見できたとしますと、学校にそれを連絡します。そういった形でこれは人を傷つける案件であるというふうなものももし出た場合、その事業者または元の事業者連絡して削除依頼をするというケースは今までもあったわけですが、それがすべて削除につながるかというと、その部分が非常に問題になっています。削除するにはそれなりの案件の確認や訴えやいろいろな形で難しい部分が残っていくということですので、随時、案件についてはチェックをしておりますけれども、それが最後まで解決には至っていないのが実情と考えております。また、この件について大きな問題になる前に対策を考えていかなければいけないと思っておりますけれども、事象としては藤沢市においては大分減ってきております。そういった学校での取り組みや、それから学校全体で、ある団体の講師をお呼びして、学校での取り扱いについての指導とか、怖さ、危険といったものは研修を随分入れておりますので、成果が少しずつ上がってきていると感じております。

藤崎委員 藤沢市ではブロックごとに小学校2校、中学校1校の特別支援学級設置ということですが、他市においては80%ぐらいの設置率であるという話を聞いたことがあります。それと比較して藤沢市はどのような状況ですか。

吉田教育総務部参事 特別支援学級の設置については、藤沢市は当初から一人ひとりでできるだけ手厚い対応をしようということがありまして、教育環境をきちんと整えてきたという経緯があります。当初、人数もそんなに多くなかったということもありまして、拠点を設けて8ブロックに設置をしていくという状況がありました。他市の方は、平成19年に特別支援教育と大きく施策が転換しまして、その際に通級可能なクラスも含めて特別支援学級を設置して構わないような条項になったわけです。その際に学校につくってしまおうということで、施設、設備、環境といったことを度外視して各学校に設置したという経緯もあるように聞いております。藤沢市のように、それぞれの学級に応じたプレイルームをつくったり、空調設備を整えたり、トイレをつくったりというような施設、設備がなく学級として立ち上げたという話を聞いておりますので、非常に設置率が高いということが言えるのではないかと思います。

藤崎委員 藤沢市ではそういう設備を整えているということはとてもいいと思います。ただ、施設がよくなくても、いい先生に出会えることが子どもにと

って一番だと思います。ぜひ両方向でより良い特別支援学級づくりを目指していただきたいと思います。

澁谷委員長 施設面などいろいろ課題はありますが、教育委員会としては各小中学校に設置する方向で進んでいると考えてよろしいのでしょうか。

吉田教育総務部参事 全学校にということですが、基本は学区あるいは校区と言われている子どもたちが、自分の地域の学校に通えることがよりよいのではないかという判断があります。今の状況ですと、遠いところまで通っているようなお子さんもいますので、そういったことを考えると、全校に設置が望ましいかなという考えです。ただ、全校に設置するにはさまざま条件もありますので、まず、緊急性を有するところ、過大規模化をしまして、その過大規模校を解消していかなければいけない点、そのあたりを中心に徐々に考えていきたいという方向です。

藤崎委員 いじめ、不登校への対策について、県のスクールソーシャルワーカーを活用した事例が藤沢市はゼロという話ですけれども、教育相談の運営状況の18ページに課題として、保護者や家庭の問題を伴うケースへの対応ということが上げられています。藤沢市では教育相談の問題だけでなく、福祉の担当者との連携、学校の連携とのあり方など、どのように行われていますか。

吉田教育総務部参事 福祉部門との連携というのは課題で、それも含めてスクールソーシャルワーカーを何とかしたいというのがあるのですが、学校側の要望としては、保護者が何らかの形で学校とつながることができる、そういった対応を考えたい。そうすると、保護者が対応できるのは福祉部門かなと考えているようです。これは今後の課題として受けとめさせていただきます。

澁谷委員長 文教常任委員会で、教科書採択についての報告をされたわけですが、文教常任委員から教科書採択に関して意見などありましたか。

吉田教育総務部参事 文教常任委員会におきましては、教科書採択そのものということではなくて、定例の教育委員会で決まった教科書採択の方針にのっとり静ひつな環境でできたかどうかというのが主たるものでしたので、それ以外の大きなものはなかったと思います。

澁谷委員長 また、文教常任委員会の報告を議会でされたときに、何か意見等がありましたか。

田中教育総務部長 特にその件についての質問等はありませんでした。

澁谷委員長 全校に地上デジタル放送対応型テレビを配置すること、あるいは電子黒板、理科教育設備の充実ということで、国の補助金を受けての補正予算についてですが、この9月以降、政権が変わり国の予算凍結の話などがニュースで伝わってきますが、現在のところ、どのような状況になっているで

しょうか。

吉田教育総務部参事 地上デジタル放送対応型テレビ及び理科教育設備、電子黒板ともに7月30日付で県の方に申請したのに対しては許可をするという通知が参りましたので、今、電子黒板を含め対応しているところです。

澁谷委員長 予定どおりということですか。

吉田教育総務部長 はい。

澁谷委員長 ほかにありますか。

ないようですので、報告どおり了承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

澁谷委員長 以上で、本日予定しておりました審議する案件は、すべて終了いたしました。

次回の会議の期日を決めたいと思います。12月18日(金)午後3時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

澁谷委員長 それでは、次回の会議は12月18日(金)午後3時から、場所は東館2階教育委員会会議室において開催いたします。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

午前10時45分 閉会

この会議の経過を記載し、相違ないことを確認する。

藤沢市教育委員会委員長

藤沢市教育委員会委員

藤沢市教育委員会委員